

# 仙台定振会報

発行所

仙台市立高等学校  
定時制教育振興会事務局  
電話 (022) 237-5341

〒983-8543  
仙台市宮城野区東宮城野3番1号  
仙台市立仙台工業高等学校定時制

## 令和元年度総会報告

令和元年度初の総会は、五月十八日(火)午後六時から例年通り仙台工業高校で開催されました。役員の方々、仙台大志高校、仙台工業高校から校長、事務局の先生方が出席、約一時間半にわたり、七月二十九日(月)に行われる仙台市への要望についての検討や活発な議論、各校の現状を踏まえた情報交換等が行われました。

総会は、仙台工業高校丹野校長の開会のことばに始まり、崎野会長の挨拶、前年度の事業報告、会計決算報告が行われました。昨年度の要望事項であった就職支援員とスクールカウンセラーの継続配置に関しては、仙台市から理解を得られ善処していただいていることが報告されました。

その後、本年度の事業計画、予算案が提案されました。仙台市への要望事項として、仙台大志高校、仙台工業高校とも、引き続き就職支援員とスクールカウンセラーの配置をお願いすることです承されました。両校の生徒にとって、豊かな学校



生活を送るためには絶対不可欠なことであり、存在であることが理由として挙げられました。

また、学校独自の要望事項として、仙台工業高校から「敷地北側の樹木の伐採および北側公道の歩道樹木の剪定」が提案されました。敷地内に植樹されたヒマラヤスギ等が校舎四階

に届くほどに生長し過ぎたため、定時制校舎の採光等で支障をきたしていること。校地の外の樹木も歩道にかかり学校関係者だけではなく、一般の方々の往來の障害となる危険性が述べられました。さらに、仙台大志高校の「調理室厨房施設の改修」について、役員の方々から継続して要望すべきとの意見により、引き続き仙台市に求めていくことが了承されました。

役員案では、長年、仙定振の活動に貢献くださった崎野会長がご勇退され参与となり、青澤副会長が新しく会長に就任されることになりました。

各校の近況報告では、仙台大志高校の佐藤校長からは、今年度の高校入試志願者状況とオープンキャンパス等での「開かれた学校」が志願者を増やしたのではという話がなされました。仙台工業高校の丹野校長からは、少子化に伴う生徒数の減少が「モノづくりから人材を育てる工業教育」に与える不安が述べられました。

出席された役員のみならずからは「中学校や社会に対し定時制高校をもっと知ってもらおう方策をとって行きましょう」という意見をまとめて協議を終りました。

最後に閉会の言葉を岡本副会長からいただき、今後とも仙定振を盛り上げ、定時制教育に寄与する旨が述べられ、散会となりました。

### 仙定振総会



卒業するみなさんへ  
「新しい門出に向けて」  
会長 青澤 誠治

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

これまで卒業生のみならずが定時制高校に通ってこられた4年間、たくさんの方々と多くの時間を過ごし様々な思い出を作ってこられたことと思います。皆さんが「昼働き夜学ぶ」生活で得られた知識や技能は、将来の人生において、きつと大切な宝となり大きな力となることでしょう。あなたの周囲には、毎日近くで励ましてくれた友人、熱心にご指導いただいた先生方や事業主の方々、そして今日までご家庭から学校へ送りだして下さったご家族がおられます。その皆さんに是非今日の日の感謝の気持ちを持ってこれからは頑張ってください。

重ねて、今日ここに「卒業」という新しい門出を迎えるに当たり、卒業生を陰ながら支えていただいた多くの方々に、当会を代表して心より御礼申し上げます。

さて、当会(こと仙台市立高等学校定時制教育振興会(略称:仙定振))は昭和三十七年に発足して以来五十有余年、教育界をはじめ政財界からの協力をいただき活動をしております。

これまで定時制高校に通う生徒たちの教育に関わり、微力ながら物心両面にわたり下支えをすることにより、将来、県内はもとより国内外で活躍できる人材の育成を支援してまいりました。

定時制高校に入学する生徒を取り巻く環境、社会情勢も、ここ数年大きく変わりましたが、将来へ向け希望を持ち、一杯の努力で未来を切り開こうとする若者の姿勢に多くの大人が好感を持ち、その力に期待をかけています。この仙定振も未来に向け努力する定時制高校生とその卒業生をこれからも引き続き応援していきたいと思っております。

最後になりますが、今年度元号も「平成」から「令和」へと移り、日本は新しい時代へと動き出しました。卒業生の皆さんには、定時制高校で培った力を生かし、新しい時代の担い手として大きく飛躍してほしいと期待しております。

仙定振一同、これからの皆さんのご健闘とご多幸を心からお祈りしております



# 市への要望書提出

□令和元年度仙台市への要望書提出は、七月二十九日、仙台市役所上杉分庁舎二階教育局第三会議室で行われた。本会より青澤誠治会長、岡本浩行副会長、栗原憲昭副会長、佐藤正昭常任委員、浦山孟吉委員及び各校事務局長が訪問し、仙台市側からは佐々木洋教育長をはじめ幹部職員の皆様が列席された。

まず、青澤会長が佐々木教育長へ要望書を手渡し、その後、青澤会長ならびに佐々木教育長よりご挨拶をいただいた。青澤会長は仙台市の定時制教育に対する、「理解とご協力」に対して感謝を述べられた。一方、佐々木教育長は、勤労青少年の学びの場としてだけではなく、社会的ニーズに対応した定時制教育を推進していく必要があると述べられた。

本年度の要望に対して高校教育課の田中課長は教育活動環境の充実に努めていくと述べられ、健康教育課の渡辺係長からは将来の校舎の大規模改修にあわせての改善検討についてのご説明があった。

その後、懇談となり、岡本副会長、栗原副会長、佐藤常任委員が中心となって不登校になる理由や傾向を把握することにより良い方策作りに役立てられないか、また定時制高校の良さを小・中学校に周知する方法、職業教育の必要性等、活発な話し合いが行われた。

## 令和元年度要望事項

- 一、仙台大志高等学校及び仙台工業高等学校共通要望事項
  - 1 就職支援員の継続配置について
  - 2 スクールカウンセラーの継続配置及び工夫を凝らした支援の充実について

## 二、各校からの要望事項

- 仙台大志高校
  - 調理室厨房設備の改修（吸排気設備の更新と下処理室の設置）
- 仙台工業高校
  - 敷地北側の樹木の伐採および北側公道の歩道樹木の剪定



教育長への要望書提出

# 学校だより

## 仙台工業高等学校

平成三十一年度の仙台工業高校定時制課程は、建築土木科八名、機械科十名の新入生をそれぞれ迎え、全校生徒七十名でスタートしました。少子化に伴う生徒数減少の中、様々な制約や課題が生まれているが、それを乗り越えて生徒一人ひとり、学習だけではなく仕事・部活動・学校行事あるいは資格取得など多方面に積極的に挑戦しています。特に学校では、工業高校として資格取得に力を注ぎ、年間を通じて始業前や放課後に講習を実施し成果をあげています。計算技術検定、危険物取扱者、パソコン利用技術検定をはじめとして、建築土木科では、建築CAD検定、建築・土木施工管理検定、測量士補、技能士（建築大工）等に取り組み、機械科においても、機械検査、機械保全、機械加工、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、第二種電気工事士、QC検定等、各科の専門的資格取得に熱心に取り組んでいます。

一方、部活動では学習やアルバイトで限られた練習時間の集中して取り組んだ結果、本年度はバドミントン部・バレーボール部・柔道部が全国大会出場を果たすなど大きな成果をあげています。

また、学校行事では秋の体育祭が二日間にわたり行われ、生徒・職員の絆を超えて大いに盛り

り上がりました。



仙工高 バレーボール部

（※学校だよりの内容については本校ホームページに記載するため、本校分の内容に限定しております。）